

千厩・大光寺「木造不動明王立像」

藤沢・長徳寺「木造阿弥陀如来立像」

# 県有形文化財に指定

一関市内の寺院にある  
仏像2件が県の有形文化  
財に指定された。23、24  
の両日、市教委から両寺  
院に指定書の伝達が行わ  
れた。

千厩町千厩の大光寺に安  
置されている木造不動明  
王立像と、同市藤沢町保  
呂羽の長徳寺の木造阿弥  
陀如来立像。

このうち、長徳寺（渋  
谷真之住職）への伝達は

24日に行われ、市文化財  
課の佐藤武生課長から渋  
谷住職に指定書が手渡さ  
れた。

木造阿弥陀如来立像は  
同寺の本尊で、挙身光を  
負い蓮華座上に立つ姿で

像高は84・4センチ。年代は  
鎌倉時代とみられる。  
渋谷住職は「10年前は  
町の文化財だったが、こ  
の10年で市文化財、県文  
化財となった。これも地  
域の皆さんに守られてき  
たおかげ。多くの皆さん  
に見ていただきたい」と  
感謝した。

同寺では、3月4日に  
開く蘇民祭で県指定文化  
財記念展として同像の公  
開を予定している。



木造阿弥陀如来立像の前で佐藤課長（左）から  
県有形文化財の指定書を受け取る渋谷住職